

「事業仕分け」第2弾

原子力機構などの独立行政法人が対象候補に！ 研究開発法人の大幅な整理・合理化もねらいのひとつ

民主党連立政権は、独立行政法人を「廃止も含めて」全面的に見直すことを目玉の政策に掲げており、4月上旬に、対象となる独立行政法人の候補が、一斉にマスコミで報道されました。その中には、原子力機構、科学技術振興機構、理化学研究所、宇宙航空研究開発機構などの名前が挙げられています。4月20日には正式に対象法人が決定され、23日から4日間の予定で「事業仕分け」が行なわれる予定です。

昨年実施された事業仕分けでは、科学技術に関する極めて乱暴な議論に多くの識者から批判が相次ぎました。今回もまじめで有意義な議論が行なわれるのかどうか疑問です。

とりわけ注目すべきことは、研究開発法人を整理・統合する案が民主党の中にあることです。枝野行政刷新担当相が「研究開発系法人を、研究内容への国の関与が強い、基礎研究を行なう、応用研究を行なう、自らは研究しないが審査して研究者に資金を提供する、医療関係、原子力関係、など5つか10くらいに整理できるのではないか」と述べたと報道されています。また、「政府は研究開発法人を統廃合して、「国立研究開発法人」(仮称)に移行させる方針を固めた」という報道もあります。これまでも、特殊法人時代から「行政改革」と称して「整理・合理化計画」が進められ、小泉政権では十分な議論もなしに「原研とサイクル機構の廃止・統合・独立行政法人化」が押し付けられました。その結果、単に法人の数が減っただけでなく、予算と人員の大幅な削減が強行されており、現場の状況は大変になっていくばかりです。政治的思惑による安易な「整理・合理化」には問題があります。原研労組としては、今後の議論を注視するとともに、積極的に問題提起し、行動していきます。

////////////////////////////////////

4/8、窓口交渉報告(宿舍使用料の改定及び駐車場使用料の徴収等について)

先に機構から提示があった宿舍使用料の値上げ、駐車料金の徴収などについて引き続き交渉を行っております。拡大窓口交渉の概要は以下の通りです。

労組) 駐車料金については不合理である。今までと状況が変わるわけではなく、ハード的に何も変わっていない。駐車料金を別に取ると住民間でトラブルの元になる。宿舍使用料が25%も上がるのだから、その中に収めてもらいたい。

機構) 会計検査院は住宅と駐車料金を別々に考えている。今までは駐車料金について便宜を図ってきたということだ。宿舍使用料の計算には駐車料金は入っていない。

労組) 今までの制度が駐車料金込みになっていたとみなせる。それで車庫証明も発行している。それに、こんな田舎にまで国家公務員の基準を適用できるのか。国家公務員の宿舍はもっと便利などころにあるのでは。

機構) 駐車料金込みで合理的な理由があればよいが、金額の問題ではなく徴収すること自体に反対なのか。まわりの独法はどんどん徴収を始めており、原子力機構だけが取り残されるわけにはいかない。何か手を打たなければならない。

労組) 継続性という意味では、今までもコミコミであったと考えることができる。そもそも、国家公務員の場合と原子力機構の場合では、ハード的にだいぶ違うのではないのか。

基準がハッキリしていないのに徴収するのか。東京など都市部では車はぜいたく品かも知れないが、東海村などの場合には通勤の必需品であり、だいぶ事情が違う。

機構) 気持ちは分かるが、機構としても駐車料金について整理をしておく必要がある。

労組) 停める場所も便利などところと不便などところがあり、不公平感が生じてしまう。お金がからんでいるので調整などがかなり大変だと思う。

機構) それはクジ引きにするのか話し合いにするのか、今までになかった話なのでよく検討する必要がある。

労組) とところで国家公務員は1台あたり2500円なのか。1家庭ではないのか。

機構) 1台あたりだと思う。5m×2.5mの標準サイズがあり、それに地区毎に決められた単価を掛けて算出している。例えば、駐車場に屋根があるなしで単価が変わってくる。

労組) 「1台あたりの面積として5m×2.5mの標準サイズに地区単価を掛けたものを駐車料金とする。」となっており、どこにも「1台あたりの料金」といったことは書いてない。単に計算に面積と単価を使っているだけだ。まあ、国の基準はあくまでも国のものだ。それに他の独法の話が出てくるが、こんな田舎にある独法も珍しいのではないのか。

阿漕が浦クラブや高崎研の宿泊施設の場合はどうなるのか。

機構) 宿泊施設の費用については、上がらない。

宿舍使用料の25%値上げについては、概ねやむなしということで良いか。一応配慮はしていて、今年度いっぱい経過措置として値上げを半額にするつもりだ。

労組) 新しい住宅では値上げ額が大きい。経過措置を長く設定して欲しい。

寮では、宿舍使用料よりも駐車料金が高くなってしまふ。それもおかしな話だ。今までの宿舍使用料に駐車料金が入っていたということにならないのか。

機構) それは今までの制度でどこにも書いていなかったのが難しい。その分、値上げすると言うのなら分かるが。

労組) 国家公務員では1992年から始まったということだが、国家公務員に合わせるというなら、どういう経緯で導入され、その後の経過がどうなっているのかも説明して欲しい。

機構) 調べてみる。

宿舍使用料の値上げについてはあまり問題でなく、合意したということによいか。今後は駐車場使用料について話し合う、ということによいか。

労組) 宿舍使用料の値上げについては、不満はあるが仕方ない面もある。建設から年月が経っており、それほど大きな金額にはならないと思う。ただ、駐車場使用料の徴収については、新しい制度であり金額が高いため、影響が大きい。説明もうまくできない。

機構) 宿舍使用料については、宿舍居住者への説明を始めても良いか。

労組) いきなり「決まりました」というのではなく、よく説明する必要がある。

【継続雇用職員(嘱託)の契約について】

機構) 1回目の契約は、退職が計71名で、16名が雇用を希望していない。55名が雇用を希望し嘱託になった。希望者は100%採用した。

労組) 今回からC、D評価による契約を延長しない制度が始まったが、対象者はいるのか。

機構) 2回目の契約は、計48名で、2名が希望しない。46名が希望し100%契約延長した。3回目の契約は、計20名で、2名が希望しない。18名が希望し100%契約延長した。

常勤、非常勤の内訳については後ほどお知らせする。

【テクニカルパートタイマー、臨時用員について】

労組)量子ビームで9:00~15:00の6時間勤務、休憩・お昼休みなしというテクニカルパートタイマーの募集があった。労働基準法違反ではないが、かなり大変な労働だと思う。早速、こういう使い方をするのは如何なものか。

機構)募集内容について確認してみる。

労組)臨時用員からアルバイトに変わった人はいるのか。臨時用員は16:30までの勤務だが、それより、アルバイトになって17:30までいて欲しいと考える上司がいるのではないか。雇用者本人に不利になるようなことは勧めないで欲しい。

機構)たぶんいないと思う。

新入職員へ組合説明会とアンケートを実施しました！

4/5(月)のお昼休みに、新入職員へ対して原研労組の説明会を実施しました。お弁当を用意したこともあり、新人オリエンテーション受講者:約90名のうち、ほとんどの方が説明を聞いてくださいました。また、今年は新入職員の組合に対する考え方や説明会の理解度を調査するため、アンケートを実施しました(その内容と結果は右側)。アンケートの有効回答数は32部でした。

アンケートの「説明会でもっと聞きたかった内容がありますか?」との質問には、「2つの組合の違いについて」がもっとも多くなりました。原研労組としては、もう一つの組合(原子力ユニオン)が既に4/2(金)のお昼休みに説明会を開催していたこともあり、「原子力ユニオンの事は原子力ユニオンに聞いて欲しい。ただ、組合へ加入していただけるのであれば、2つある組合の違いをよく検討してから加入して欲しい。」と述べるに留め、あえて説明を行わなかったためと考えられます。

また、お昼休みという限られた時間のなかで、主に原研労組の方針や最近の取り組み、組合加入の意義などに重点を置いた説明を行なったため、「組織の概要、どんな人が加入しているのか」や「組合へ加入した場合の活動や義務」についての説明が少なかったことが反省点として考えられます。

労働組合の必要性については、アンケートを提出してくれた方のうち25名と多くの方に「必要だと思う」と回答していただき、それだけでも説明会を開催した意義があったといえます。組合加入については「考えている」、「検討してみる」の合計が22名となり、意外と多くの方が加入を検討してくれていることが分かりました。

「労組に加入していただくためには、何が重要ですか?」との質問については、回答結果が分かれました。近年、組合への相談が増加している「職場のパワハラ」については得票数が少数でした。まだ職場へ配属されていないため、あまり実感が無いのではないかと考えられます。

今回、説明しきれなかった「2つの組合の違い」や「組織や加入している人、活動や義務」については、4/22(木)の職場配属後に各分会や職場の皆さん、または『あゆみ速報』を通して理解を深めてもらい、より多くの方に原研労組へ加入してもらえよう努力していく必要があると思います。



日本原子力研究開発機構 労働組合(原研労組)

皆様のご意見をお聞かせください
よろしければ、アンケートへのご協力をお願いします！

原研労組の新人説明会について

1. 最初の説明はどうか?(委員長の説明)		2. 2番目の説明はどうか?(元書記長の説明)	
<input type="checkbox"/> 理解できた	30人	<input type="checkbox"/> 理解できた	27人
<input type="checkbox"/> あまり理解できなかった	0人	<input type="checkbox"/> あまり理解できなかった	0人
<input type="checkbox"/> それほど興味を持てなかった	2人	<input type="checkbox"/> それほど興味を持てなかった	2人
3. 説明会でもっと聞きたかった内容はありますか?		(複数回答可)	
<input type="checkbox"/> 組合の目的、意義	2人	<input type="checkbox"/> 交渉以外のレクリエーション活動など	6人
<input type="checkbox"/> 活動内容やこれまでに獲得した成果	5人	<input type="checkbox"/> 組合費の金額	6人
<input type="checkbox"/> 組織の概要、どんな人が加入しているのか	10人	<input type="checkbox"/> 2つの組合の違いについて	18人
<input type="checkbox"/> 組合へ加入することの意義・メリット	7人	<input type="checkbox"/> その他(コメント欄にご記入願います)	1人
<input type="checkbox"/> 組合へ加入した場合の活動や義務	11人	<input type="checkbox"/> 特に聞きたいことはない	1人

労働組合(労組)について

1. 労働組合は必要だと思いますか?		2. 労働組合への加入をお考えですか?	
<input type="checkbox"/> 必要だと思う	25人	<input type="checkbox"/> 考えている	8人
<input type="checkbox"/> 必要とは思わない	0人	<input type="checkbox"/> 今日の説明を聞いて、検討してみようと思った	14人
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	5人	<input type="checkbox"/> 考えていない	2人
		<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	7人
3. 労組に加入していただくには、何が重要ですか?		(複数回答可)	
<input type="checkbox"/> 組合の目的、意義に共感できる	16人	<input type="checkbox"/> 自分の意見や相談に耳を傾けてくれる	10人
<input type="checkbox"/> 活動内容や今後の目標がしっかりしている	8人	<input type="checkbox"/> レクリエーション活動などが充実している	3人
<input type="checkbox"/> 交渉で成果をあげてくれる	11人	<input type="checkbox"/> 特定の政治家、政党の支援を強要しない	9人
<input type="checkbox"/> 自分のまわりに組合員がいる	7人	<input type="checkbox"/> 組合費の金額が安い (千円×1人、二千元×1人、年間5千円×1人)	6人
<input type="checkbox"/> 加入する意義・メリットがある	11人	<input type="checkbox"/> 自分の組合活動の負担、手間が少ない	9人
<input type="checkbox"/> セクハラ・パワハラなどに対応してくれる	2人	<input type="checkbox"/> その他(コメント欄にご記入願います)	0人

コメント、その他 ご意見欄 (ご自由にお書きください)

- ・なぜ従業員全員が入っていないのか?本当に必要なのか?
- ・なぜ(組合が)2つあるのか?目的はほとんど同じに思える。
- ・よく主義が分かってよかった。
- ・2つの組合の違いが本当に分からない。